

BMZ インソール紹介

医療関係者 -003-



紹介者：高田 雄一

職 種：理学療法士、専門理学療法士（運動器）

学 歴：札幌医科大学保健医療学研究科博士課程前期修了、大学保健医療学研究科博士課程後期（生体工学分野）在学中

職 歴：医療法人社団元氣会、札幌整形外科、医療法人山美会 札幌山鼻整形外科等を経て、北海道文教大学人間科学部理学療法学科 助教

所属学会：日本理学療法士協会、北海道理学療法士会、マニュアルセラピー研究会、臨床理学療法研究会、日本臨床バイオメカニクス学会、理学療法科学学会 他

私たちは1Gの重力場での日常生活を送っており、足は地面と接する唯一の部位であり、足関節は下腿からの荷重を足に伝え、足と地面の関係をコントロールする重要な役割を担っています。現在、様々なインソールがあるなかでBMZは立方骨を支えることにより、足全体のアーチを無理なく正常な状態に近づけ、趾(あしゆび)をより自然に使えるようにし、安定性と運動性を向上させる目的で作成されています。

現在、様々なスポーツ選手がBMZを使用しています。今後、立方骨を支えるという新しいコンセプトを持って誕生したBMZの可能性を広げるためにも、研究をもとにどのような場面で最もパフォーマンスを発揮できるのか、また子どもから高齢者、スポーツ選手まで様々な人に合うインソール開発を進める上で必要な根拠を提示していきたいと考えています。少しでも多くの人役に立つインソールになることを期待しています。